

\*\*\*\*\*

# 長中魂



平成29年1月6日(金)

第29号

伊豆の国市立長岡中学校だより  
文責 守野 和弘

\*\*\*\*\*

## 第5ステージ「感謝」・3学期がスタートしました。

### 校長先生より

あけまして、おめでとうございます。皆さんがこうして元気な姿で集まっていることに喜びを感じています。今年も、長中魂を胸に頑張っていきましょう。その上で、2つのことを皆さんに伝えたいと思います。

1つ目は、新しい年を始まるにあたり、1年の目標、計画をしっかりと立て、生活していきましょう。有言実行、夢・希望をもって新年をスタートしてください。4月からは誰もが違う立場となっています。そこでの姿を思い描いて目指して行ってください。

2つ目は、第5ステージ「感謝」が始まりました。かけがえのない仲間と力を合わせ、全員が感謝できる仲間となるように、みんなで頑張りましょう。

1月5日(木)より3学期がスタートしました。1月に行く、2月は逃げる、3月は去るといわれるように、あっという間に時が過ぎていく52日間です。始業式では各学年代表が、この3学期をどう過ごしていくのか、意気込みを述べてくれました。

\*\*\*\*\*

### 3年生代表 田口 さん 「3学期の抱負」

冬休みの貴重な時間。その時間を有効に使えば、有意義なものになります。しかし、時間の使い方を間違えれば、取り返しのつかないことになってしまいます。受験生の冬休みは遊ぶためではなく、勉強をして志望校合格に近づくためにあるのだと思います。冬休みになる前に山口先生が、「楽しむときは、しっかり楽しんでこい。でも、その前の五日間はしっかり勉強をしろ。」とクラスの前で話してくださいました。僕は年末年始をゆっくり過ごしたかったので、冬休みが始まってから30日までの間は、1月の実カテストや入試に向けて、朝から日が暮れるまで毎日9時間、苦手な教科や単元を猛勉強しました。

進路は自分の人生を左右しますが、いつも陰ながら支えてくれた両親、一学期からずっと一緒に悩みながら進路選択でアドバイスをくださった山口先生をはじめとする学年の先生全員に、心から感謝しています。高校進学は、自分一人の力では成すことができないものであり、周りの支えてくれる人の力があってこそそのものだということを自覚し、期待を裏切らないように受験の前日まで努力をしようと思いました。

3月。志望校に合格できたら、心から嬉しく感じると思います。しかし、高校合格はゴールではなくスタートであり、夢への通過点に過ぎないのです。高校で何をするのか、どういう足跡を残すのが重要だと思います。僕には、叶えたい夢があります。それは、将来箱根駅伝を走ることです。そのためには、高校でも陸上を続けて記録を残し、箱根常連校の大学で監督に見てもらえるような走りができるようにならないといけません。僕は、高校でどれだけ力をつけられるかが勝負だと思っています。

卒業まで52日。三年間の中学校生活も集大成のときを迎えようとしています。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という気持ちを持ち、残りの限られた時間を今まで過ごしてきたかけがえのない仲間と一緒に駆け抜けていきたいと思っています。そして、全員が「長中で、一緒に過ごすことができて良かった。」と言えるような終わり方ができるようにしていきたいと思っています。



## 2年生代表 水口 さん 「今年頑張りたいこと」

私は今年、二つのことを頑張りたいと思っています。



一つ目は部活動です。女子バレー部は先輩の代から県大会出場を目標に、日々の練習でチームワークを高め、一人ひとりのよい所を生かせるように頑張ってきました。そしてその努力が報われ、十月末に行われた東部選手権で優勝し、県大会出場が決まりました。でも、中部や西部にはまだ強いチームがあるので、気を抜かず、大会までの残り少ない練習に真剣に取り組みたいです。本番では自分たちのリズムを作り、早い攻撃で攻めていき、上を目指したいです。

私は部長という役割があります。最初の頃はチームをまとめることができず、部員みんなに迷惑ばかりかけていました。けれど、先輩や部員みんなが励ましてくれたおかげで、自信を持つことができました。これからも今まで以上にまとめられるように努力し、バレー部の一、二年生みんなと頑張りたいです。

二つ目は学習です。十二月から自習室の取り組みが始まり、約一年後の受験に向けて本格的な準備がスタートしています。三年生になるにあたって、私は苦手な数学を克服できるようにしたいです。テストでは点が低く、得意な英語と比べると数十点の差があります。予習、復習を徹底し、少しでも数学が好きになれたらいいなと思います。

三年生になる準備として、三月まで中堅学年としてやるべきことを少しずつ進めていき、四月には、最上級生として学校全体を見渡し、引っ張っていけるような、長岡中にふさわしい存在になりたいです。今年は勉強と部活動の両立を心がけ、両方全力で取り組めるように頑張ります。

\*\*\*\*\*

## 1年生代表 久保田 さん 「3年生への感謝の気持ちを形に」

私は、「3年生を送る会」を通して3年生に感謝の気持ちを伝えることを3学期の目標としたいです。3年生には色々な場面でお世話になったからです。

私にとって一番3年生との関わりが多かったのは部活動です。私は、はじめは先輩と上手に付き合えるだろうか、と少し不安に思っていました。でも、部活動の先輩たちは、よく声をかけてくれたり、どうすれば上手にできるかを教えてくれたりして、優しかったです。

私は、ソフトボール部に入っていますが、練習でも試合でも、よく失敗していました。それでも、先輩たちは励ましてくれたり、アドバイスもしてくれたりしました。私は、先輩たちが声をかけてくれることや励ましてくれることがとても嬉しかったです。私にとって3年生の先輩たちは頼りになる存在でした。だから私は、「3年生を送る会」で3年生に感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

「3年生を送る会」を成功させるには、1・2年生の団結が必要だと思います。私は、団結することの大切さを2学期にあったかつらぎ祭で実感できました。特に印象に残っているのは、体育の部の学年種目・長縄です。練習を始めた頃はなかなか脚がそろわずに回数もあまり跳べていませんでした。でも、練習が進むにつれてかけ声も大きくなって、記録も伸びてきました。誰かが引っかかっても責めずに、大きな声で励ましていた人もいました。本番では、クラスの最高記録を出すことができ、達成感も大きかったです。私はこのことで、全員が団結して何かに取り組むことの大切さを実感できました。

私は、「3年生を送る会」を成功させるために、3年生への感謝の気持ちをもって取り組むことや、他の人たちと協力することを大切にしていきたいです。また、進んで自分ができることを見つけて実行していきたいです。そして、3年生が喜んでくれるような会にし、私たちの成長も見せることができるように努力したいです。

\*\*\*\*\*

## 餅つき大会を中止します

\*\*\*\*\*

親'Sの会の方々が、1月28日(土)、部活動で頑張っている生徒のために餅つき大会を企画していました。しかし、今年はノロウィルスが流行し、各地の餅つきのイベント等が中止されている状況から、親'Sの会の方から「中止します」との連絡がありました。今回は残念でしたが、これからも生徒たちのために、よろしく願いいたします。



### <表彰された生徒>

#### 【吹奏楽部】

○県管打楽器アンサンブルコンテスト東部地区大会

- ・金管アンサンブル……銀賞
- ・クラリネット四重奏……銀賞

#### 【理科研究】

○県学生科学賞田方地区選考

- ・テーマ「ぴかぴかの金属～研磨～」1年 土屋元希 入選
- ・テーマ「気象と体調の変化」2年 平山文子 努力賞

